首都圏大曲会会報　第14号

ふるさと大曲

題字　澁谷一男

平成24年12月発行　発行所:〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7-304 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(5213)2028　FAX 03(5213)2029　e-メール：info@e-prosjp.com　http://www.supportlife.info

公民館前に到着した花火灯籠の前で栗林大仙市長

"消防太鼓隊"の威勢の良い演奏(四ツ屋まつり)

63団体集結の大前夜祭

"大曲の花火男"北九州に現る

早稲田大学応援団　大仙市成人式で応援パフォーマンス(8月)

共に
大曲の意気込みを…

首都圏大曲会会報　第14号

「夏まつり大曲2012」で

秋田県特別栽培農産物認証

内城菌パワーが 生きる だから 《安全・安心》 食感が自慢の 有機米 こだわり米の 『アキタコマチ』

＊内城菌農法

画期的なパワーを発揮する内城菌は、従来厄介者として処理されてきた食物、魚肉、野菜等から出る生ゴミを、有機肥料としてリサイクルします。これで土壌は生まれ変わり、植物は栄養分を吸収し易くなり、ここに有機肥料による「内城菌農法」が可能となります。

生産者佐藤久男氏のこだわりは、この肥料を使って生産する安全・安心の有機米『アキタコマチ』です。

有機米『こだわり米のアキタコマチ』Fax注文票

ご注文Fax番号⇒　0187－62－5614

特別栽培こだわり米	5 kg袋	10 kg袋	30 kg袋
①減農薬　化学肥料不使用 （内城菌有機肥料のみ散布土壌）	3,000 円 （　　個）	5,000 円 （　　個）	13,000 円 （　　個）
②減農薬　化学肥料40%使用 （内城菌有機肥料＋化学肥料散布土壌）	2,300 円 （　　個）	3,800 円 （　　個）	10,000 円 （　　個）
ご注文合計数	（　　個）	（　　個）	（　　個）

ご住所⇒　〒
お名前⇒
電　話⇒

＊　いずれも送料は当方で負担します。数量に限りがありますので品切れの際はご容赦願います。

〒014-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42　生産・販売者 佐藤　久男
電話0187(66)1702　　Fax0187(62)5614

大曲のまちから

市広報誌「だいせん日和」より

◇秋田おばこ節が大曲駅の発車ベルに

JR大曲駅の発車ベルに「秋田おばこ節」が採用され、五か月になろうとしています。地元に根ざしたぬくもりのある民謡のメロディを発車ベルに用いることで、民謡の普及拡大と継承、観光誘客につなげようと、大仙市民謡愛好会（佐藤昌月会長）と市の要望で実現したもの。

同会会員と中仙在住の三浦昭栄さんによる演奏を録音したベルは、電車発車時の約15秒間、駅のホームに流れています。

◇昭和八年会が切り絵で表現した民話集を寄贈

昭和八年生まれの大曲小学校卒業生で組織される昭和八年会（挽野隆之会長）から大仙市に、切り絵の挿絵が入った民話集「ふるさと民話」二百冊が寄贈されました。

これは同会員の傘寿を記念して製作された大曲界隈の民話集で、旧大曲町出身で同会会員の恩師である切り絵作家の塩谷良二さん（＝千葉県松戸市在住）がまとめたもの。ふるさとに伝えられてきた民話の情景が切り絵でいきいきと表現されています。寄贈された本は、市内の三十二の小中学校に贈られ喜ばれています。（塩谷さんの切り絵による民話は、「ふるさとの昔っこ」として、本誌にも連載されています）

首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』第14号 目次

平成24年度首都圏大曲会総会開く …… 4

がんばろう！東北の意気高く　4　ふるさとが輝けば私たちも輝く　5

暑過ぎるこの夏を乗り切れば　5　お楽しみ福引き大会　6　大曲出身の芸能人たち　6

〔第86回「大曲の花火」〕

大曲の夜空をキャンパスに …… 9

大曲の花火ウィーク2012

東京で〈大曲の花火〉を観る会ご案内　7

□B－1グランプリin北九州

「大曲納豆汁」関門海峡を越える　旨めもの研究会代表　辻　卓也 …… 10

■第三回四ツ屋まつり ―― 地域の興隆に一役 …… 12

〈頑張る仲間たち〉

■伊豆高原のフレンチレストラン『レピアーノ』訪問 …… 14

■「大曲の花火」会場アナウンサー　神山万亀さん …… 16

◇大仙市で活躍する企業訪問シリーズ④

紳士服市場で独自の地位を見せる　**大同衣料株式会社** …… 17

スポーツ合宿を誘致（早稲田大学応援団、他） …… 18

「ふるさと納税」にご協力ください（故郷が生まれ変わる活力に） …… 21

■ふるさとの昔っこ　九郎兵衛　蛍（切り絵　塩谷良二） …… 22

【カメラ紀行】　北海道・大雪山山系（旅人　斉藤貞助） …… 24

◇ながまの話題

作詞「哀愁の角館」黒皮羽生　26　俳句「納豆汁」朱華　27

カズヒロの津軽三味線ライブ　26　編集後記　27

株式会社　嶋田ハム

代表取締役　嶋田耕治

〒014-0016 大仙市若竹町26－23

TEL（0187）63－1576

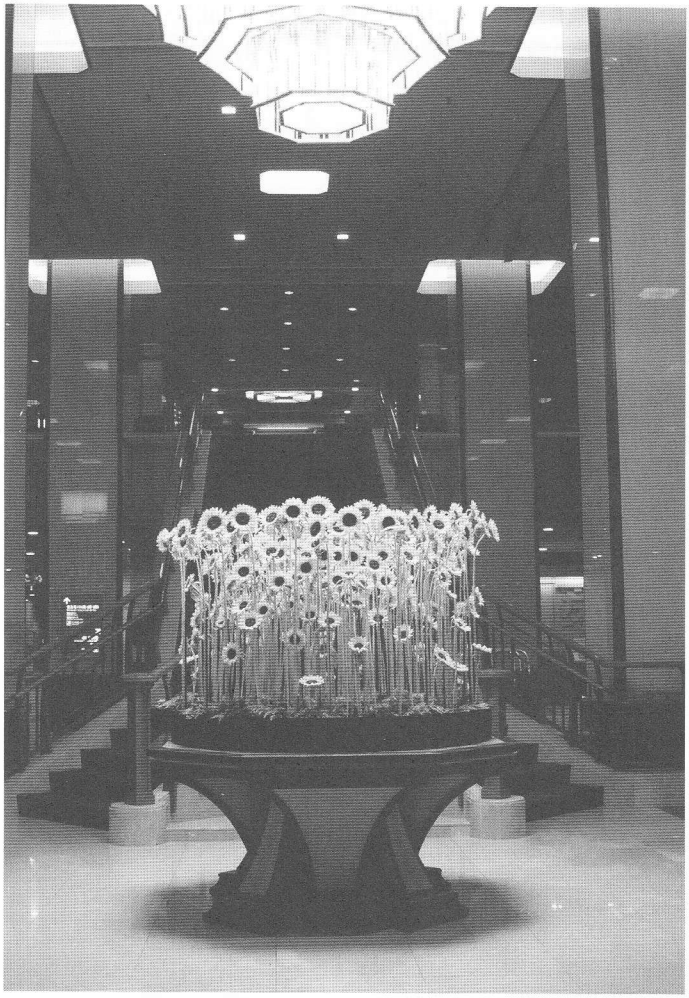
FAX（0187）63－1578

大曲会 総会開く

8月開催は初の試み

平成24年度首都圏大曲会総会兼懇親パーティーは八月四日（日）、恒例の東京・千代田区の帝国ホテル「光の間」で開催されました。初めての夏真っ盛りの八月開催となりましたが、暑さをものともせずに、それぞれ和気あいあいと参加し、楽しく、賑やかな集いとなりました。

挨拶をする栗林次美大仙市市長



会場入り口では綺麗な花のモニュメントが迎えてくれた

150名が参加して

がんばろう！東北の意気高く

東日本大震災の悪夢を見て一年四か月、東北に注がれる目は災害現地に集中しがちです。しかし直接的な被害は受けなかった秋田県にしても、間接的な被害は想像以上のものがあります。大仙市は災害救援に積極的に乗り出すとともに、また災害廃棄物「がれき」処理受け入れを、他の自治体に先駆けて意思表明をしました。「がんばろう！東北」を行動に移した自治体として、首都圏大曲会も高く評価し大仙市を誇りに思いました。総会でも参加者の話題も災害に関連したものが多く、思いは大曲に住んでいる人と同じなんだと感動し、嬉しく思いました。

「大曲の花火」とともに「大曲の梵天」もDVDで

開会前の時間を利用して、毎年「大曲の花火」をDVDで観賞するのがこの会の慣わしとなっています。加えて今年は、NHK総合テレビで感動を与えた「大曲の梵天」を写し出して喜ばれました。

総会は午前11時30分、大友律子副会長の司会で始まりました。事業・会計報告などが満場一致で承認され、大仙市役所や地元各団体との密接な連携を図ります。今年も積極的に活動を展開していこうと新年度事業計画とそれにともなう予算案の説明も全員の総意で通過しました。

来賓祝辞としてステージに立った栗林次美市長は、東日本大災害に対する大仙市の取った施策を話し、特に瓦礫処理の行動には拍手も聞こえました。困っているときはみんな同じ。これを見ていて見ないふりをしなかったわが郷土大仙市の行為には、「よく決断してくれた」と、善意の姿勢を高く評価したということです。他に急ピッチで建築が進む仙北組合病院を含む大仙市市街地再開発など、変わる大仙市の報告がありました。

児玉市会議員（議長代理）の祝辞、総合政策課高橋正人主幹による「ふるさと納税」への協力要請があり、大曲商工会議所賢木新悦副会頭による発声で、総会はお楽しみパーティーに華やかに切り替わりました。なお今年も大仙市内各ふるさと会からの代表参加を始め、秋田県会議員、大仙市議会議員、大曲商工会議所、JA秋田おばこ営農センターからの参加もありました。

「エゴ」を見るのは久しぶりだなや

大曲産の品物を並べて今年も即売コーナーは大盛況。特に「エ

平成24年度　首都圏

暑気払いを兼ねて

幼馴染みですがちょっと気取っていい感じです

□首都圏大曲会　大釜会長

ふるさとが輝けば　私たちも輝く

「ふるさとが輝くと私たちも輝く」と首都圏大曲会大釜茂璋会長

今年は会場の関係で8月の開催となりました。暑気払いを兼ねてはいるが東北の夏まつりと重なってしまいました。全国的に高温が続き作物が心配だが、嬉しいことは、全国学力テストで秋田は今年もトップをきわめたことです。特に大仙市は凄い。東京で大仙市が輝いて見えました。素晴らしい故郷を持つ人は、困難時も故郷を思い頑張ることができると、強烈なエールを送りました。

□大仙市議会　児玉議長代理

暑過ぎるこの夏を　乗り切れば…

暑過ぎるこの夏と大仙市議会児玉裕一議員

田んぼの稲も伸びてきましたが、今年の夏は暑すぎます。稲は南方から渡来のものですが、こう暑くては稲の成長には決して良くはないと心配をしています。その一方で畑の野菜は水不足で、これには大きな影響が出ています。こういう気象変動には、これまでの経験や工夫を生かして乗り切って行かなければならないと、田園都市の議員さんらしく、夏以降への期待を込めての挨拶でした。

ゴ」など東京ではなかなか手に入らないから口にも入らない。あっと言う間に売り切れてしまいました。

お楽しみ福引大会はみんなが待ち遠しい。司会者が調子よく番号を読み上げると歓声が湧いたり、ため息が出たり。

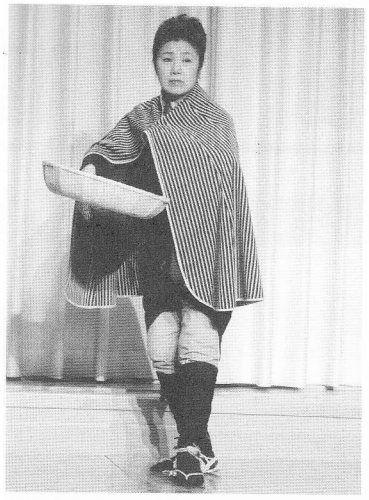
景品の「花火米」大当たり、「都わすれ」招待の特大賞などを当てて大喜びの人など。

午後2時半、鈴木繁副会長による閉会の挨拶は、恒例となった2月の「東京で大曲の花火を観る会」、来年7月21日の総会での再会を誓ってお開きとなりました。

良く売れるのは“三人娘”の愛敬もおまけにつくからと好評

賑やかなステージ

大曲出身の芸能人たち



颯爽と富士琴美さんの股旅すがた

息子の伴奏に合わせて母親が歌う（千葉トシ子さん親子）

撮影　斉藤　紀子

落語家の型はきまっているぞ！三遊亭小曲さん

フラダンスを踊れば気持ちも華やぐ。左は中学一年生の美緒ちゃん、右は高田さんのお子さんの宏子さん

高田洋子さんはフラ界のベテランダンサーで知られる

軽快にお楽しみ福引き大会の司会を務める築地良仁幹事とアシスタントの小松美智子幹事、ぴったり息が合っている

興奮のお楽しみ福引き大会

大仙市でも大曲地区は多くの芸能人を輩出しています。今年のお楽しみパーティーにも新顔の落語家のタマゴも出演して、歌手はいたけど落語家とは珍しいと大いに沸きました。

お楽しみコーナー今年のステージは、第一部は歌謡ショーとフラダンス、千葉トシ子さん、首都圏大曲会のベテラン会員でもあるフラダンスの高田洋子さんと門下生。門下生といっても娘さんとお孫さん。いわば高田家総出演の賑やかさ。そして三人目は、本職は浪曲師で浅草が本拠地。ファンも多い富士琴美さん。今回は、股旅すがたの新舞踊の披露でした。

第二部はお楽しみ福引き大会で大いに盛り上がり、そして第三部は、これから大成が期待される「大仙市出身の若手芸能人」お二人の出演です。

トップは津軽三味線で急成長をしているカズヒロこと畠山一洋さん。これまでも各地のステージに出ているだけに、その腕前はベテランに一歩近づいたともっぱらの評判。この日は母親の千葉トシ子さんは民謡歌手にしては珍しく洋服で出演でしたが、息子が目立つ地味な姿だと、フロア雀は観察が鋭い。

もう一人は若手落語家。三遊亭小遊三師匠のもとで修行中の三遊亭小曲さん。（詳細は本誌13号）それぞれ持ち味発揮の、首都圏大曲会ならではの楽しいステージでした。

東京で大曲の花火を観る会 & カラオケを楽しむ会ご案内

2012年　大会提供花火　Believe
夢を未来につなげよう

日　時　平成25年2月17日（日）
午後1時～4時30分
（受付開始　12時30分）

会　場　アルカディア市ヶ谷（私学会館）

会　費　一人　五千円（弁当、飲み物付）

申込み方法　①氏名（ご家族、友人・仲間などグループで参加の場合は参加人数も）②住所、電話（グループで参加の場合は代表者の電話）。首都圏大曲会事務局まで電話あるいはFAXでお申し込みください。

申し込み先　首都圏大曲会事務局
電　話　03（5213）2028
FAX　03（5213）2029

飛入り大歓迎！

今回も、花火観賞の後はカラオケ大会を行います。

どなたもお気軽に参加できます！

第86回大会　DVDの映像で
東京で〈大曲の花火〉を観る会

酒に酔い、歌に酔い陶然とした世界を彷徨う

「花火弁当」を前に花火を鑑賞すれば、みんなの気分はすっかり夏の雄物川河畔にある

大曲会以外の方も大歓迎！

「大曲の花火」は子どもの頃からの華やかな思い出として今も心に残ります。86回目を迎えた今年のテーマは〝つながり〟。東京で大曲の花火を観ようと、首都圏大曲会が立ち上げたこのつどいも今年で四回目。「花火弁当」を前に、地元から取り寄せた秋田銘酒をぐいっとやれば、気分はもう雄物川河畔。

花火鑑賞後、恒例のカラオケ大会も賑やかに盛り上がります。どなたもお気軽にご参加ください。会員以外の方でも大歓迎！

昼も夜も楽しんで・大曲のバカンス

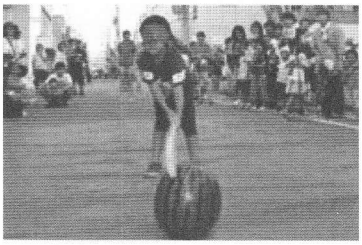
大曲の花火ウィーク2012

「夏まつり大曲2012」で粋に踊る

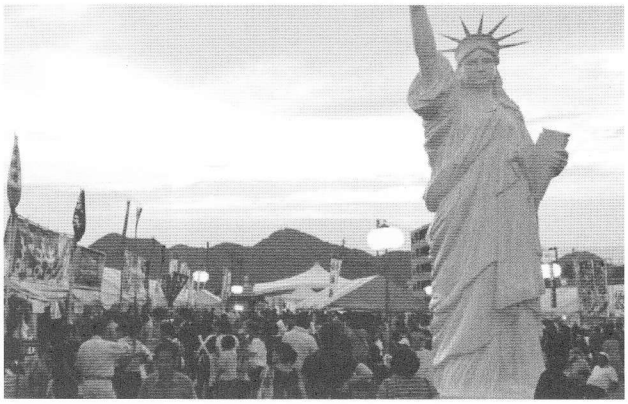
大曲の花火を更に楽しく

全国的に有名な「大曲の花火」といっても、大曲は花火大会だけじゃないということを知ってもらわなければなりません。そこで八月十九日から大会当日の二十五日まで一週間、「大曲の花火ウィーク2012」が、花火通り商店街と丸子橋を中心とした界隈で開催されました。日替わりの花火ショーを始め、夏まつり大曲＆子供樽みこし、県内ご当地グルメ店など様々な企画で大変賑わいました。

大仙市で夏合宿の早稲田大学応援団
若さが弾んで夏まつりは一気に燃え上がる

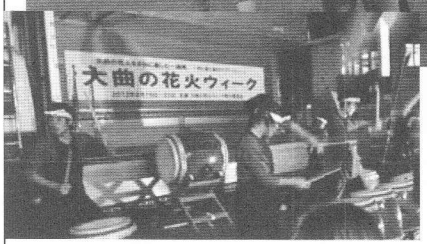


坊やのスイカ割りゲームも



花火ウイークで賑わうステージに
忽然と「自由の女神」が登場

大曲中学校創立50周年記念
吹奏部の演奏



威勢よく和太鼓も景気づく

一度観るとまた来たくなる

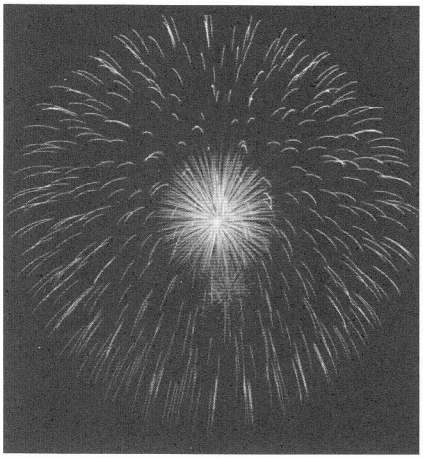
第86回全国花火競技大会「大曲の花火」が八月二十五日、大曲の雄物川河川緑地運動公園で開催されました。東北の夏らしく、からりと晴れあがったこの日、全国各地から訪れた観客は76万人。東日本大震災の復興が思うように進まない中で、「手をつなごう、心をつなごう、お互いに支え合おう～」と励み励まし合って頑張ってきた東北の人々。

大仙市では昨年に引き続き「大曲の花火」に、岩手県宮古市、大船渡市、陸前高田市、大槌町の方々とともに、被災以来大仙市で避難生活を送っている皆さんを招待しました。がれき処理を全国に先駆けて受け入れたり、被災地の人々を花火大会に招待して励ましたり、大仙市の心温まる行為には、大仙市市民の行為として、被災地ではもちろん全国の心ある人々から高く評価されています。

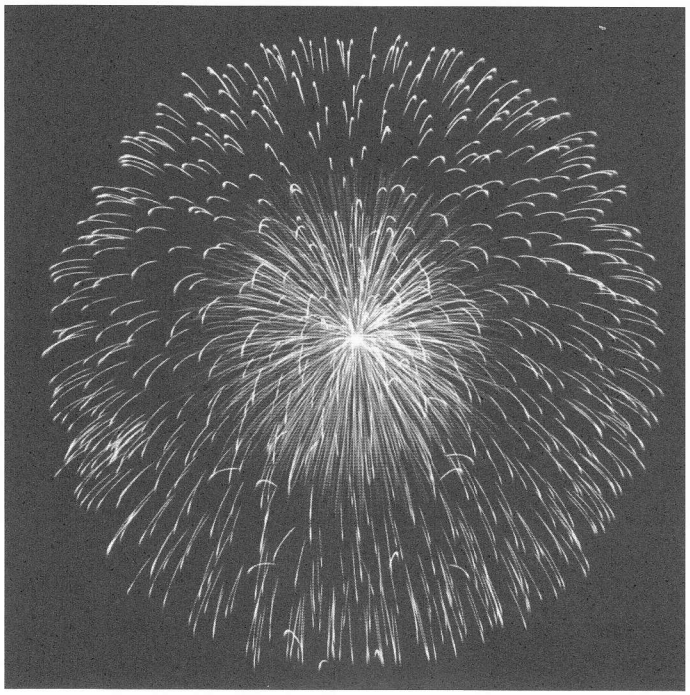
全国から選りすぐられた花火師たちがその腕を競い合うコンクールだけに、他の地域の花火とは、まるっきり質が違うと評価されるのが大曲の花火。それだけに打ち上げるほうも、これを見る

大曲の夜空をキャンパスに

第86回全国花火競技大会「大曲の花火」



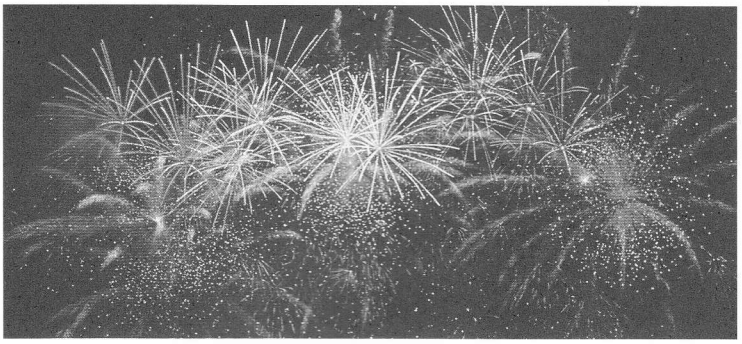
10号割物の部準優勝／
（有）太陽堂田村煙火店（長野県）



10号割物の部優勝／信州煙火工業（株）（長野県）

快晴に76万人の大観客

創造花火の部準優勝／
（株）齋木煙火本店（山梨県）
「聖礼花～パステルカラーの奇跡～」



特別プログラム「さあ　夢の世界へ！」
第85回大会内閣総理大臣賞受賞／（株）紅谷青木煙火店（長野県）

側も真剣さが違います。大曲の大会で優勝すれば文字通り「全国一」として認められる、高い品質の花火大会です。初めて大曲の花火を見た人は勿論としても、いわば誰が見ても「他の土地の花火とは全然違う」となり、そこがまた大曲っ子の自慢であり誇りでもあるのです。

大曲の花火の特徴に「昼花火の部」があり、これもなかなか粋だと言う人もいますが、メインはやっぱり「夜花火の部」。大会は伝統の10号割物2発と創意工夫を凝らした創造花火。そしてクライマックスは、打ち上げ幅約500m、今年は約5分40秒にわたって打ち上げられた大会提供花火「Believe 夢を、未来につなげよう」。また前回の大会で内閣総理大臣賞受賞者による特別プログラム「さあ　夢の世界へ！」なども圧巻。去りゆく夏を惜しむ如く光と音の豪華ショーは、終盤に見られる観客と花火師たちとの光のエール交歓も花を添えて、今年の幕を閉じました。

B-1 グランプリ in 北九州

大曲納豆汁　関門海峡を越える…

関門海峡を越えて「大曲納豆汁」は九州の地を踏んだ。高鳴る胸のときめきを抑えて、いよいよ明日から大会は火ぶたを切る。

大曲の街おこしの一環として、「大曲納豆汁」の普及を図る「大曲納豆汁」旨めもの研究会（辻卓也会長）。この研究会は平成24年6月に『愛Bリーグ』から正会員として加盟を認められ、10月20～21日に福岡県北九州市で開催されたB―1グランプリに参加しました。初の関門海峡越えとなった「大曲納豆汁」。その大健闘はマスコミにも注目されました。

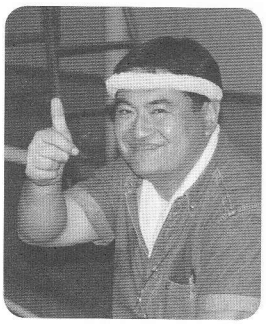
花火のまちの納豆汁
大健闘！　食の街おこし活動

「大曲の納豆汁」旨めもの研究会
代表　辻　卓也

みなさまお馴染み「大曲納豆汁」は十月二十～二十一日の両日、北九州市小倉区で開催された日本一のご当地グルメの祭典「B―1グランプリin北九州」に初出展いたしました。

全国から63団体集結 60万人を超える盛況

全国から六十三団体が集結したご当地グルメの祭典は来場者が六十万人を超える大盛況。お客様の投票で順位が決まる大会ですが、単なるグルメイベントではなく、各団体が郷土愛に燃え、地元を元気にするために行っている「食の街おこし活動」の成果を全国へPRする博覧会なのです。


辻　卓也さん

おもてなし精神とPRパフォーマンスはどの団体も個性豊かで、本当に素晴らしいものでした。

残念ながら入賞には至りませんでしたが、「大曲納豆汁」と「花火のまち」を全国へ発信することができました。また、二十四歳から七十四歳までの参加メンバー四十名が一丸となり、他の先達団体と共に切磋琢磨することでプライスレスな経験と感動を得ることができ、今後の活動への意識を高めることもできました。

ご当地グルメで街おこし活動の真の目的は「人づくり」です。このプロジェクトに参加してくれたメンバーはこれからの大曲のまちづくりにとって財産になることでしょう。

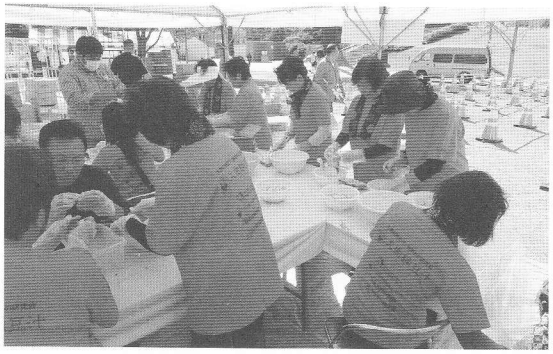
二日目はタッパーや水筒持参で購入者も

納豆汁がどんな食べ物なのかを想像すらできない九州の地でしたが、それでも大曲納豆汁を食べてくれたほとんどすべてのお客様が「美味しい」と絶賛。初日に食べて美味しかったため二日目にはタッパーや水筒を持参してくれた人、また一人で五杯食べた人等々、とても好評でした。秋田に縁とゆかりのある方々も多数来ていただき、納豆汁の味をとても懐かしがると共に、秋田弁や昔話について楽しそうに語ってくれました。このように郷里を離れて生活をする人々にたいしても、ルーツと誇りをつなぎ続けることも我われの重要な使命だと強く実感できました。

テレビ・新聞・ラジオ マスコミ総動員の報道

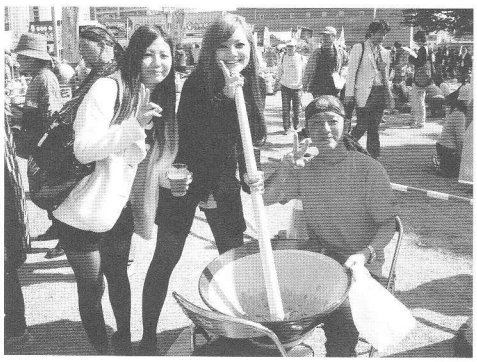
今回は多くのテレビ番組やラジオ・新聞・雑誌が、事前密着取材も含め、大曲納豆汁と私たちの活動を報道してくれました。会場で来場者へのPRのみならず、マスコミ媒体をフル動員して「花火のまち・大曲」と「大曲納豆汁」を全国へ発信することができたことはB―1グランプリに出展することによって得られた

右は九州出発に先駆け、地元からの荷物積み出し。5トントラック2台分。下はブース前で大曲の花火ミニ講座



上は前日の下ごしらえ風景下は、ブース前で二日間、納豆汁音頭を歌い、踊ってくれた微笑みシスターズ

大曲納豆汁のブース前に出来たお客様の行列



好評を呼んだ納豆のすりつぶし体験コーナー

発信力の凄さです。

イベント終了後も、その反響の大きさに驚いております。

市外・県外のお客様からのお問い合わせや、県外からのツアー、個人旅行などで市内十七の認定店に来店いただけるお客様は着実に増えております。

また報道を見ることで地元の方々にも私どもの活動趣旨が正しく伝わったようで、「テレビ見たよ、頑張ってね」と励ましの言葉をいただく機会も増えました。イベント会場で「大曲納豆汁を以て我が街を知ってもらい、実際にここへ来てくれるお客様を増やすことが活動の目的ゆえ、大きな前進と言えましょう。

大曲、大仙市の地域密着型活動として推進

イベントもさることながら地域に密着した日々の活動こそが一番大事です。これからも我が街の様々な人や、団体やものを巻き込みながら、大曲と大仙市を元気にできるよう活動を盛り上げてゆきます。

「お料理」と「接客サービス」が好評です
懐石料理
フランス料理
スペイン料理
GROUP-SYMBOL
微笑み・やすらぎ・感動
グランドパレス川端グループ
大仙市大曲浜町7-39　TEL 0187-62-0354　FAX 0187-63-0354

旬の秋田が高輪に。
Dining & Shopping
あきた美彩館
Akita Bisaikan
京急本線品川駅　JR品川駅　高輪口　徒歩3分
東京都港区高輪4丁目10-8
ウィング高輪WEST-Ⅲ 1階
TEL 03-5447-1010　http://www.akita-bisaikan.jp/

灯籠が地域を練り歩いた。右上はお祝いの挨拶をする栗林市長

四ツ屋地区コミュニティ会議（児玉協三会長）主催による「第３回四ツ屋まつり」が、十月六日（土）、四ツ屋公民館を主会場に、盛大に行われました。お馴染みの『花火灯籠』に今年は新しく児童クラブなどが製作した『ミニ花火灯籠』も加わり、一段と賑やかな四ツ屋まつりとなりました。

第3回　四ツ屋まつり

地域の興隆に一役

花火灯籠　６台勢揃い

芸能発表や生涯学習作品展も

三年目を迎えた『四ツ屋まつり』は、四ツ屋商工協議会青年部制作による大型『花火灯籠』がよく知られていて、このまつりのシンボルとなっています。これは青森の「ねぶた」のような山車で、その周囲には絵があしらわれて、これを四ツ屋地域の活性化につなげたいと、地域住民の祈りが込められたものです。

この制作にあたっては、花輪や弘前のねぶた職人から直接指導を受けたもので、高さ約四・五メートル、横幅約三メートル。下絵は四ツ屋出身のデザイナー佐々木裕登さんが担当し、着色は青年部の全員で行っています。

正面には「公平無私」の文字と諸葛孔明を、裏面には地域安全の祈りを込めて、花火をモチーフにした題名「華祈域」の絵が描かれました。

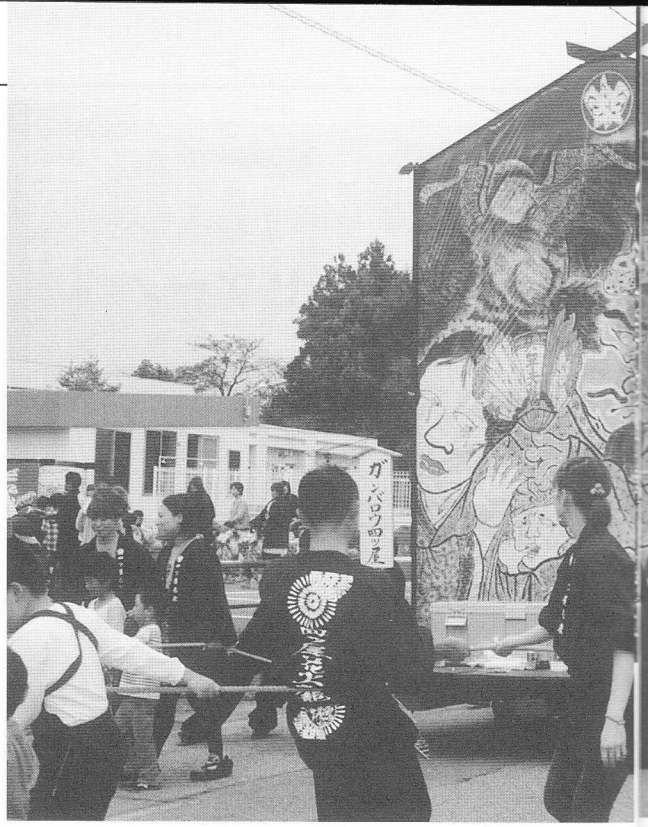
同会では花火灯籠を地区の人々に知って貰いたいと、四ツ屋地域の小学校、保育園、高齢者施設を訪問して「ミニ灯籠」の製作指導を行いました。それにより五台のミニ灯籠が製作され、まつりの当日まで公民館などに展示されました。

写真上は、大仙仙北美郷支部消防訓練大会【規律訓練の部】で優勝した大曲支団第４分団の行進パフォーマンス。下は、四ツ屋地域の保育園保護者男性で構成されたＡＫＹ48によるダンス。コミカルな踊りに会場内は笑いの渦に包まれた。

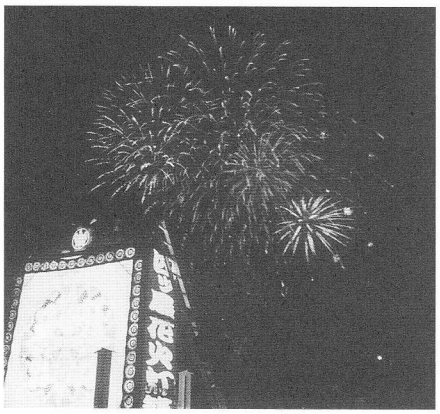
かすり姿に赤たすきの手踊りに送られて出発

午前十時、スタート地点の伊藤住宅前に、商工協議会青年部のメンバー、保育園児、小学生など大勢の人が集まりました。出発に先駆けて昌月会の、かすり姿に赤いたすきの若い女性三名による手踊りが披露され、ミニ灯籠を先頭に、太鼓や掛け声のお囃子↖

地域消防団の模範演技も
観客も増えて年々盛大に



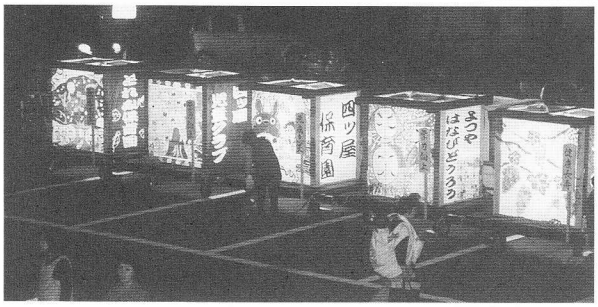
四ツ屋商工協議会青年部が制作した巨大な花火



↙も賑やかに出発。そのまま公民館までの道々を練り歩きました。

栗林市長も公民館前で灯籠の一行を出迎え

公民館前の広場には、大勢の人々と一緒に、他の行事の合間を縫って栗林市長が駆けつけてくださいました。灯籠とともに練り歩いた一行を出迎えてくださり、「このまつりが、四ツ屋地区の活性化に貢献することは間違いない。ますますの発展を祈ります」と挨拶をし、激励してくださいました。

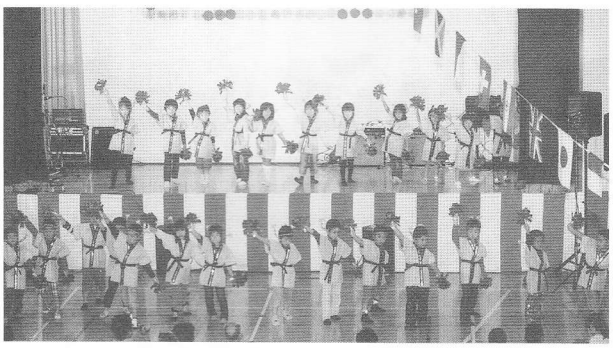


超満員の立ち見も出たステージ発表

今年もFM秋田の人気パーソナリティ真坂はづきさんの司会で、ステージ発表は大いに盛り上がりました。広い体育館は立錐の余地もなく、一番後ろまで観客で埋まり、立ち見のお客様も出るほど。

ステージでは公民館前に展示された大小の灯籠には、夜ともなるとライトアップされ、まつりのフィナーレを飾って灯籠の後方から約五百発の花火が公民館の夜空に打ち上げられました。

上から、展示された生涯学習の成果、中は大灯籠の上高く開いた花火、下は今年から参加した小学校、保育園、児童クラブ、高齢者施設で作ったミニ灯籠



四ツ屋ファンタスティックジュニアバンドの演奏

どれみ保育園児たちによる「ええじゃないか」

大曲に所縁（ゆかり）のある人みんなの会

首都圏大曲会　会員募集中！

年会費：1家族千円（会報代・通信費など）です。

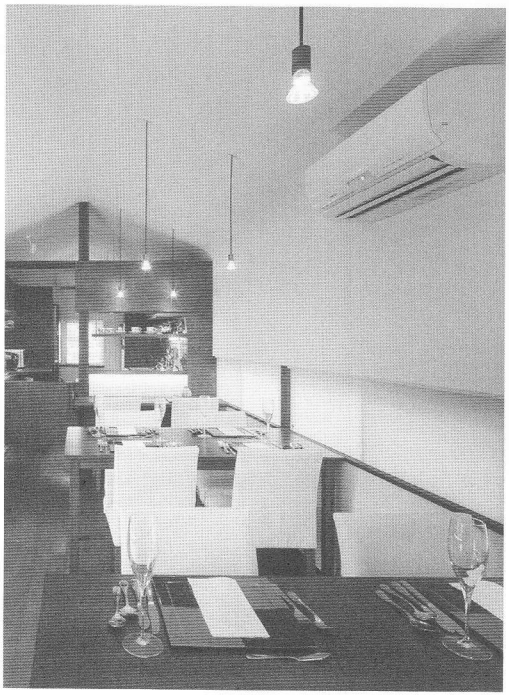
☆ご質問・入会お問い合わせ先

〒102-0061 東京都千代田区九段北1-1-71-304
教育情報プロジェクト気付
電話 03-5213-2028（代表）　FAX 03-5213-2029
eメール：info@e-prosjp.com

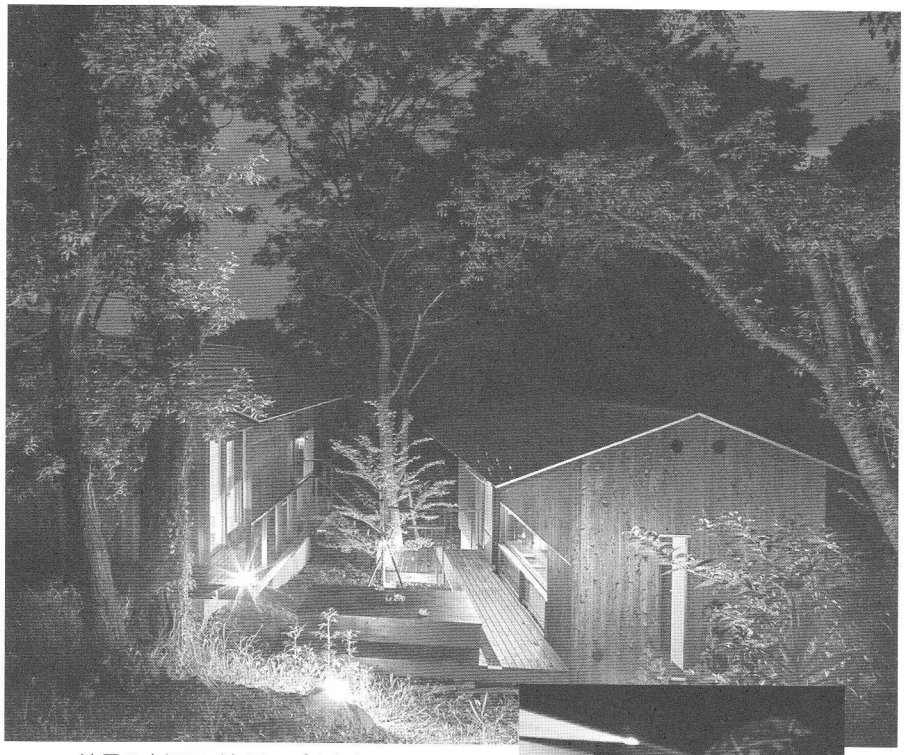
秋田産礼讃

伊豆高原・フレンチレストラン

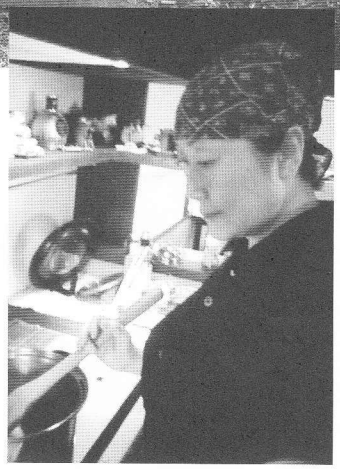
Repiano レピアーノ



シックな装いの店内はセットされお客様の到来を待つ



漆黒の中にライトアップされた
フレンチレストラン「リピアーノ」



シェフの加藤明子さん

佐藤久雄さん（大曲・高関）の“こだわり米”

有機米アキタコマチが大好評

「秋田県出身ですが、伊豆半島の伊東市でレストランを経営しています。食材は美味しい秋田産のものを使用しています。機会がありましたらどうぞお出かけください」とお便りをいただきました。伊東市八幡野でフレンチレストラン「レピアーノ」を経営する加藤明子さんです。

なんと、首都圏大曲会の総会や二月の「東京で大曲の花火を観る会」で、参加記念の「アキタコマチ」を提供してくださっている、大仙市高関の佐藤久雄さんから、直接「アキタコマチ」を仕入れて大いに好評を得ているとは嬉しい話でした。（大釜）

□出身は鹿角郡小坂町

懐かしい川原の鍋っこ

秋田はどちらのご出身ですか

加藤　銅山で栄えた小坂町です。現在実家は秋田市です。

小坂町で育ったころの懐かしい地元の行事や食べ物の思い出など

加藤　母が行事を大切にする人でしたから、一緒につくったお彼岸の大きなおはぎ、お月見のお供えの果物や栗など。当時小坂町は鉱山町として栄えていて、グローバルで華やかな町でした。学校の運動会でも花火が一〇〇発ほども上がり、ご近所のみなさんと食べた重箱に詰め込んだお料理の味、友だちとの十和田湖のキャンプ、川原での鍋っこなど、懐かしい思い出です。

どうして伊豆半島だったのですか

加藤　母の故郷が西伊豆の土肥（現伊豆市）だったものですから、伊豆の海の美しさはよく聞かされていました。東京で大学生活を送る中で、伊豆高原のペンションや民宿にはよく遊びにきていました。結婚後も子どもたちと海沿いのホテルにはよく来ていたのです。いつかはここで暮らし、食べ物を作る仕事をしたいものだと考えていました。

フランス料理の勉強はどちらで？またなぜ伊豆でフレンチですか

加藤　レストランで洋食の基本を習いました。その後フレンチベースの無国籍料理を熊谷喜八

ひでよし――ひょうたん
お酒を注ぐ時に聞こえる「こぼこぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。
未成年者の方にはお酒をお販売しません。
秀よし
（名）鈴木酒造店
大仙市長野字二日町9
電話0187-56-2121

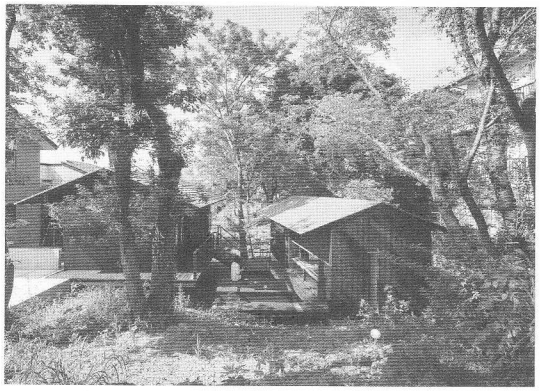
珈琲は大曲のナガハマコーヒー 特別ブレンドを使用です。

氏のサロンで学びました。伊豆高原にはフレンチが似合うと思うのです。

□秋田の食材の確かさを知ってもらいたい

ところでフランス料理の食材を秋田に求めた理由は？

加藤　料理研究家として稲庭うどん協同組合から、新しい食べ方のメニュー開発を委嘱されました。職人さんや関係する人々の大変さがよくわかりました。そういうことから秋田を離れましたが、秋田の食べ物のおいしさ、その確かさをもっと知ってもらいたい気持ちが残りました。稲庭うどん、とんぶり、いぶりがっこ、寒糀、味噌、もちろん秋田の米、日本酒など…。

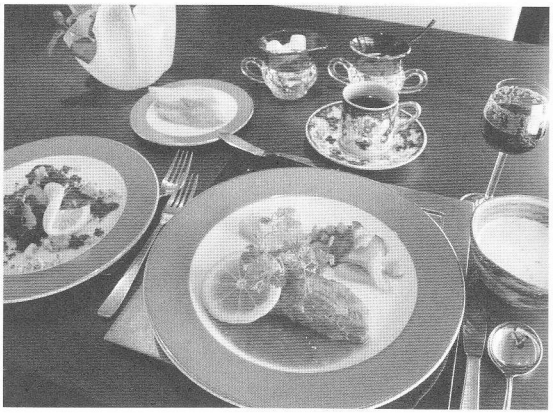


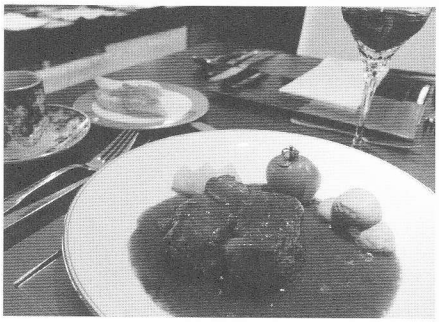
明るい伊豆半島の太陽の下に、フレンチレストラン「レピアーノ」はある。周りの木々は海からの風を穏やかに受け、木漏れ日の中でお客様の訪れを待っている。

珈琲は大曲のナガハマコーヒーさんに特別ブレンドして貰い送っていただいています。

そして佐藤久雄さんの有機米「アキタコマチ」との馴れ初めは・・

加藤　大学時代、江戸川区の叔父の家に下宿していたんです。その後叔父はトウキョウフードという弁当屋さんを開業しました。叔母は大曲出身です。ここではご飯がとても美味しいと評判でした。「ご飯だけは絶対に美味しいものを使う」というのが叔父の口ぐせでした（笑）それが佐藤さんのお米「アキタコマチ」だったのです。





□最も自慢の料理はビーフシチュー

ところで「レピアーノ」自慢の料理は？

加藤　ビーフシチューですね。ブランドの和牛をデミソースで、付け合せのお野菜と召し上がっていただきます。秋田市の肉屋「わかば」から厳選して送ってもらい、お野菜と一緒に半日ぐらい煮込みます。お野菜は有機野菜を使い、出来たスープにシノワで漉し入れます。それをベースにデミソースを作り、毎日、朝晩火入れを繰り返して雑味の消えたところで止めます。お肉を切り分けソースをかけます。何日もかかる仕込みなので、最初から気合を入れ、何日かはそのまま気が抜けません。（笑）

「レピアーノ」開店のきっかけとなったものは？　また素晴らしい建物ですね

加藤　大学で学び、料理教室、ペンション、レストラン、商品開発などを通して、長い間、料理にかかわってきました。そろそろ集大成をしたいと思い始めたものです。窯元さんとお話をしながら少しずつ集めた和食器も、出番を待っております。

「レピアーノ」の建築は、和モダンを得意とし、TVで建物探訪等で知られる岸本和彦氏に依頼しました。今後はより一層素材とソースにこだわり、塩味を控えた体に優しいメニューを揃え多くの人に親しまれるレストランにしたいと思います。

最後に「レピアーノ」の意味と抱負を…

加藤　レピアーノはブラスバンドで伴奏をする人です。「再びピアノ」とも読めます。子どもの頃に勤しんだピアノを、大人になってまた始めるような、お客様がよりよい時間を過ごすお手伝いとして、美味しい料理と建物のゆったり感が寄り添えられたらと願っております。

お忙しいところを、有難うございました。益々のご発展を祈ります。

右は、清楚感一杯のレストランで、お客様と。正面右側が加藤シェフ。

写真右上は、フレンチに和テイストのシェフお気に入りのメニュー。ハーフコースとフルコースがある。左上は、ビーフシチュー。ブランド和牛をデミソースで召し上がっていただく。

故郷でのお集まり、お泊りに
西根の湯っこで
遊ったりのんびり
喜ぶ顔がみたいから
姫神温泉
スパ西遊喜 大曲西根字鳥居215-9
tel 0187-68-2639

首都圏大曲会

そのまま

大観衆に花火師の心を伝えたい

大曲の夏を華麗に彩る「大曲の花火。打ち上がる前の一瞬を演出するアナウンスは、今花開く花火を鮮やかに解説して観客の気持ちを浮き立たせます。「活躍する仲間」今号は、大曲の花火会場アナウンサーの神山万亀さんです。

活躍する仲間たち紹介

大曲の花火
会場アナウンサー
神山万亀（こうやままき）さん

―― 出身は大曲のどちらですか

神山 内小友の高寺です。自然溢れるいいところです。

―― 花火との付き合いは長い？

神山 もう子どもの頃からです。大曲高校で放送部に所属していましたから。（笑）

―― 東京の生活はいつから。どんなお仕事ですか。

神山 結婚して一度大曲に帰りましたが、母が経営する靴製造会社の仕事を手伝うために、24歳から東京でMK商会という会社を立ち上げました。

―― それはお忙しいでしょう。

神山 ええ、中国に委託するもの、関西や九州での製造など、出張が大変多い仕事です。九月に中国で勃発したデモの時も上海に出張していました。

大会の成功とともに観客の無事故を祈願

―― 大曲の花火はあの大観衆。緊張しませんか。特別の行為などは？

神山 アナウンスそのもので緊張することはありません。放送室は打上げの場からほんの一〇〇mぐらいしか離れていない小屋ですから。（笑）怖いと思うこともあります。大会が始まる前に諏訪神社から神主さんが見えて、花火師さん、審査員、私たちを含めた関係者全員を前に、大会の成功と観客の無事を祈り、祝詞を奉じお祓いをします。緊張に震える厳粛さがあります。

―― 割物、創造花火、花火師の紹介と、詳しい紹介があって大曲の花火は盛大です。アナウンス中はどんな気持ちで放送をしていますか。

神山 雑念を捨てて専念することにしていますが、玉名を読みながら、製作した花火師たちの気持ちを考えたり、創造花火では、音楽は何かしら、誰が歌っているのかしらなどと考えることがあります。アナウンスを通して、大観衆に少しでも花火師の気持ちを伝えてあげたいと思いますね。

天空を舞う花に感動涙溢れることもある

―― 目の前で花火を見て、特別に感動することがありますか。

神山 頭上にテントが張られていて、放送席からは案外見難いのです。せめて大会提供花火は見たいと思い、代わる代わるテントの外へ出て見ています。もう感動で涙が止まらないことがあります。

―― 東日本大震災の被災者を招いたり、大会関係者の努力は心温まるものがありました。

神山 はい。私たちがこの方々に直接接することはありませんが、東北人の連帯感、人情、心の温かさを如実に感じました。招かれた方々も大変喜んだといいますし、大曲の住民だけでなく大仙市民がこぞって喜んだことと思います。

―― 最後に、これからの大曲の花火への期待、要望をお聞かせください。

神山 大きな事故もなく、花火大会としてはかなり完成されていると思います。

ただ毎年の反省会で話題になると聞いていますが、観客自らがもっとマナーに気を使う必要があるのではないかということです。桟敷席で火気使用の料理の厳禁や、酒に酔って悪ふざけしたり大声を発したり、ゴミの放置や、やたらなところで小用を足したり。気をつけたいですね。

観客が多くなればこういうマナー違反も多くなります。名実共に日本一の花火大会として、一人ひとりが注意し合うことが大切だと思います。

貴重でかつ楽しいお話を有難うございました。大会を支えるお一人として、大変な努力をされていることもよくわかりました。これからも大曲の花火を一層華やかに、日本一の座を守り続けるためにご精進ください。

スポーツ合宿の誘致

この夏大仙市内の各施設を利用して、大学生や高校生の合宿が盛んに行われました。これはスポーツの夏季訓練を目的にしたもの。中でも横浜商科大学野球部の大仙市におけるサマーキャンプは今年で十五年目を迎え、また早稲田大学応援部は大挙一五〇名の合宿を行いました。

施設良く環境抜群で
大仙市は合宿に最適と好評

八月に開催された大仙市成人式で、新成人を激励する早稲田大学応援団のパフォーマンス

地域の活性化に貢献
早稲田大学応援団など

夏休みの期間、東京などから大学生や高校生が秋田県を訪れ、県内各地で合宿することが多くなりました。この動向は、県内各地域の活性化に一役買って、秋田県としても合宿誘致補助事業として前向きに対応しているものです。

特に大仙市には十五年間連続でサマーキャンプを張っている横浜商科大硬式野球部を筆頭に、今年は早稲田大学応援部約一五〇名が合宿し、八月に行われた成人式や大曲の夏まつりなどにも参加して大いに盛り上げました。これは大仙市に住む早稲田大学ＯＢなどが、指導者や部員に積極的に働きかけて実現に漕ぎ着けました。これらは練習の環境整備が出来て実現するものですが、地元の競技レベルの向上、県外交流や地元ＰＲなど多くの効果が期待できます。

環境が抜群で地元人々の人情は厚く温かく、練習成果もあがったと好評でした。今年大仙市で合宿した大学、高校は次の通り。横浜商科大、千葉商科大、成城大、上智大、学習院大、鎌倉学園高校、東京学芸大附属高校の硬式野球部。立教大学準硬式野球部、早稲田大学応援部。（八月まで）

合宿の期間と重なった〝大曲の夏祭り〟で、早稲田大学応援団はパワー全開でファンに応えた

秘境温泉　神秘の湯

自然の恵みに包まれ、満ち溢れる乳白色の湯

黒湯温泉

〒014-120　1仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-11
TEL　0187(46)2214　Fax0187(46)2280
URL　http://www.nyuto-onsenkyo.com

大曲商工会議所

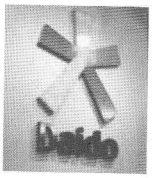
会頭　佐々木　繁治

〒014-0016　秋田県大仙市若竹町33番７号
TEL　0187－62－1262　FAX 0187－62－1265
URL　http://www.obako.or.jp/kaigaisho/

大仙市で活躍する企業訪問シリーズ④

佐々木繁治社長

大同衣料株式会社（佐々木繁治社長）は、大仙市角間川町に本社を置く紳士服の製造から販売に関わる全般を手がける企業です。資材の調達から型紙製作、自動裁断やパーツ生産、組立縫製、納品までの全工程を自社内で一括管理する製販一体型企業を志向しています。この企業の特徴は、地元経営者による、地元の資本で、地元の人間を採用し、出来上がった製品を全国に販売し、それによる果実を地元経済の中で廻すスタイルにこだわっています。地域社会との交流もスムーズで、プロバスケットボールの秋田ノーザンハピネッツの有力スポンサー企業としても知られます。



製販一体　21世紀ビジョンを掲げ

紳士服市場で独自の地位を目指す

大同衣料株式会社

大同衣料株式会社
代表取締役　佐々木繁治
創　　業：昭和53年
本　　社：大仙市角間川町字四上町7
資 本 金：1,000万円
従業員数：　170人
事業内容：紳士服製造・販売

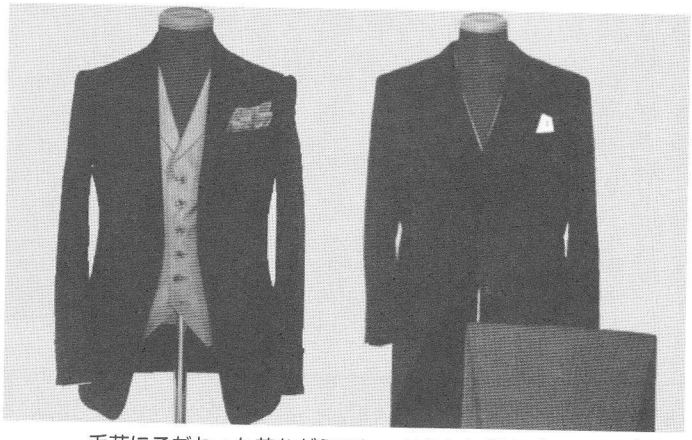
大同衣料株式会社本社事務所
「一つひとつの布地が折り重なって大きく伸びようとする人」を表現したシンボルマークが玄関真上に

――創業は何年ですか。

当社はその前身となる秋田カインドウエア（株）の操業に端を発しますが、昭和53年、ズボン専門工場として創業され、平成10年大同衣料に吸収合併しました。一〇〇％地元資本の企業になりました。

――御社の主要製品は何ですか。また特徴は？

主たる製品は紳士服です。それも礼服が中心です。『紳士服のコナカ』に全面的に商品を納入しています。最近は制服やオーダースーツも取り扱えるようになりました。製品の主な特徴は、昔ながらの本格的な「背広」の作り方にこだわるところです。「毛芯」と呼ばれるスーツの芯になる部分を大事にした、見えないところにもこだわった本格的なスーツ作りを心がけています。最近では珍しい一〇〇％純潔の日本製です。



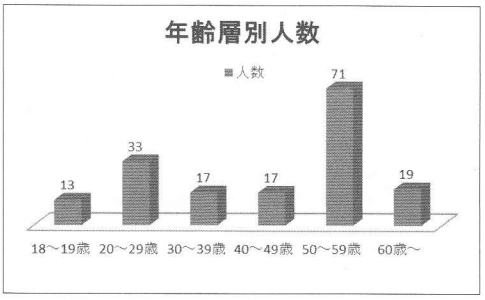
毛芯にこだわった昔ながらのしっかりした背広づくり

――御社製品のユーザーに受ける点は何でしょうか。

先ほども話しましたが、毛芯と呼ばれる「スーツの芯」からこだわった、昔ながらのしっかりした背広にあります。品質に関しては、「より良く、より早く、より安く」をモットーに、生産ラインから製品の品質までのすべてにおいて、この三信条を適用させる努力をしていることだと思います。制服やオーダーでは、お客様の要望、ニーズに添った商品を提供します。可能な限りお客様の要望を、スーツの上で具現化します。

――御社の企業理念（モットー）をお伺いします。

紳士服およびその周辺事業を通じて、健康で豊かな暮らしを願い、地域の人々に貢献する」が当社の企業理念です。また「製販一体型企業を志向し、日本の紳士服市場で独自の地位を築く」という21世紀ビジョンを掲げています。時代に即す気概のもとに、「変わらないために変わる」を信条に日々挑戦してまいります。



全社員揃っての忘年会――　一年の労をねぎらい新しい年の飛躍を誓う

――従業員構成如何ですか

全体で一七〇名の企業ですが、仕事柄一三九名と圧倒的に女性の多い企業です。男性は三一名です。

年齢別では五〇代が最も多いのですが、毎年、コンスタントに地元から新卒者を採用しています。平均年齢は四十四歳です。

――従業員はどの地域の方が多いのですか

本社工場が角間川、大曲工場が花館に、第1・第2物流センターが六郷、第3物流センターが角間川にあります。従って大仙市、仙北市、美郷町が多く、横手市大森町からも多数の社員が通っています。一番遠い社員は秋田市からです。

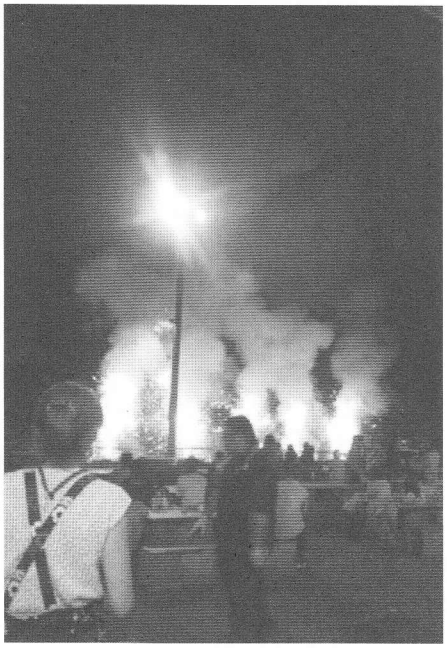
――従業員の福利厚生は？

年に四回（春夏秋冬）、全工場・物流センターの社員が一堂に会して懇親会を行っています。春は花見と新社員歓迎会、夏は納涼祭、秋は芋煮会で、冬は忘年会です。全社員が集まれる機会はとても貴重で、毎回大変盛り上がります。また六月下旬に行われる社員旅行も恒例で、今年は富士山に登りました。

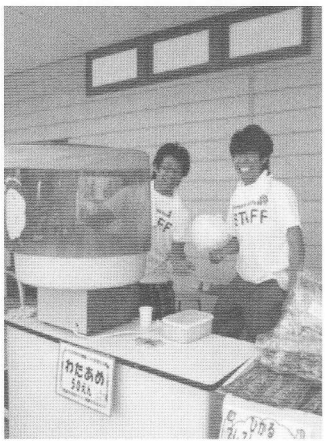
他に秋田県から、ベビーウェーブアクションという賞の表彰を受けました。これは新卒者の定期採用が評価されたものです。一方で「申請すれば休暇が取り易い会社」では、必ず生産に影響が出ます。それを避けるために、社員同士がカバーし合えるよう、生産工程のOJTを普段から推し進めています。

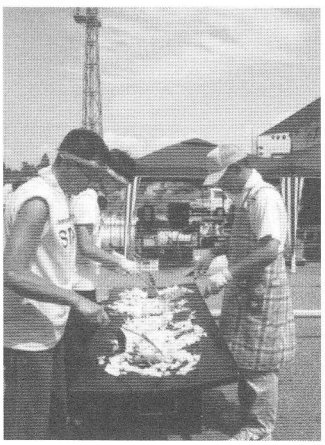
――地元を大事にする企業とお見受けします。地域住民と触れ合う行事はありますか

夏の納涼祭は地元角間川で、地域住民の目にも届くように告知します。それはもう沢山のご来場で、町をあげての盛大なイベントとなります。焼き鳥や焼きそば、綿あめ、生ビールで景気がつき、大曲南中学校吹奏楽部の演奏や民謡ショー



夏祭りのフィナーレを飾る花火





若手社員のアイディアを盛り込んで夏祭りは大いに盛り上がる

が雰囲気を盛り立てます。飛び入り歓迎のカラオケ大会も好評で、フィナーレの花火大会で締めくくります。バザーも喜ばれますが、これらの運営は一切当社社員が行っています。

ほかには六郷の第1物流センターでは5月と11月の年に2回、工場直売セールを行っています。5月は夏物中心、11月は冬物衣料を出血大サービス、特別価格での提供は、もう10年間も続き、これも地域住民の皆さまのお陰です。

―― 会社として秋田ノーザンハピネッツを応援していますね

地元に待望のバスケットボールのプロスポーツチームが出来たのは三年前です。この土地に根をおろす企業として、地元秋田を盛り上げるために、私たちも何かできることがないかと考えたのが、選手のみなさんへのオフィシャルスーツの提供ということでした。

とにかくこのプロチームを通して、地元秋田を盛り上げるために何かをしたかったのです。もちろん秋田ノーザンハピネッツは、わが社を挙げて応援をしております。

ハピネッツの応援を通して少しでも地元を盛り上げたい。ハピネッツの活躍を見て子どもたちを初め秋田県のすべての方々が地元に誇りと夢を持つことができる。秋田県に元気と勇気を与えることができる。そんなことの一助になれればこんなに嬉しいことはない。そのようなことを願いながら応援をしています。

秋田ノーザンハピネッツの公式スーツ

縦ストライプの公式スーツは選手たちの男前を一段と引き立てる

年に2回開催される工場直売セールは地域一帯で大うけ

―― 素晴らしいことですね。ところでこれからの御社の企業方針をお聞かせください。

まず全力をあげて取り組んでいきたいことは「販売」です。販売力の強化です。

オーダースーツなどお客様に直接販売することもしていますが、まだまだ規模が小さいのです。

私たちは、洋服という完結した商品を扱っている利点を生かして、もっともっとお客様と直接向き合うことの必要性を感じております。

まさに生き馬の目を抜くようだと言われる現代社会において、明日が単なる今日の延長であっていいはずがありません。昨日よりも良い方向での変化がなければ、それは退化に等しいものだと思います。そこには、安定して希望のある未来は開けては来ないことを感じます。

そのために、「変わらないために変わる」というキーワードを持ち、果敢な勇気をもって前進して行きたいと思います。

もちん、地元にがっちりと根を張ってのことです。

―― 最後になりましたが、社として従業員や地元のみなさんに、これだけは伝えたいことがありましたらどうぞお話しください。

秋田県は、人の手から生まれる労働集約型産業が絶対に必要なところです。私どもの社はこれからもずっと、この地域で、この地域の人々に仕事の提供ができるよう、当然自分たちの仕事にプライドを持ち、「継続できる企業」を目指して頑張ってまいります。

最後に、東京や首都圏各地にありながらふるさと大曲に思いを馳せる、まさに「地元大曲」に心が根付いている首都圏大曲会のみなさまの、今後一層の発展を祈念申し上げます。

（文責　大釜）

心と心のふれあいのスペース

ご婚礼・ご宿泊・レストラン
各種ご宴会に！
ご利用をお待ち申し上げます。
大曲エンパイヤホテル
〒014-0015　秋田県大仙市大曲白金町８番17号
Tel 0187−63−1131　Fax 0187−63−1541
ＵＲＬ　http://www7.ocn.ne.jp/ empire/

広大なスーパーマーケット跡地は病院施設として生き返る（平成24年11月撮影）　写真提供　大仙市

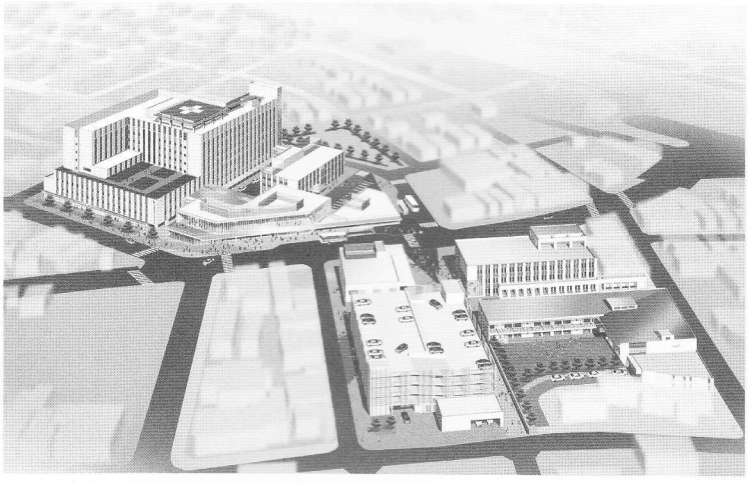
力強く急ピッチで進む

大仙市　市街地再開発

開始以来４年目になった「ふるさと納税」。生まれ育ったふるさとを愛し、ふるさとの発展を願う一つの行動として支持されています。大仙市出身者の協力は、人数においてもまた金額から見ても秋田県内トップクラスです。５千円以上で、どなたでも気軽に参加できます。

ふるさと納税にご協力ください。

故郷が生まれ変わる活力に



市街地再開発は現在の病院敷地も含め北市街地、南市街地よりなる（上方が北市街地）

組合病院の改築整備費としての指定もできる

この他「ふるさと納税」は、「大仙市地域中核病院整備支援基金条例」に則り、「仙北組合総合病院の改築整備に関る財源として」と、納税する人がその使途を限定することもできます。これにより改築整備のためにと指定する人も増えてきており、病院改築に関心を寄せる人が多いことがよくわかります。

観光や高齢者福祉など４分野の事業に活かす

「ふるさと納税」としての寄付金を大仙市では、次の４分野の事業で活用します。

①観光分野、②高齢者福祉分野、③自然環境分野、④子育て教育分野

◇納税（寄付）の手続き

１「寄付申込書」で　寄付申込書に必要事項を記入。郵送、ＦＡＸ、電子メール、または直接市役所総合政策課へ

２納付書の送付　お知らせ頂いた寄付の方法に基づき、総合政策課から納付書を送ります。

３寄付金の振り込み　お近くの銀行や郵便局など金融機関から振り込む

４寄付証明書の発行　市役所から後日、寄付証明書を送付

◇お問合せは

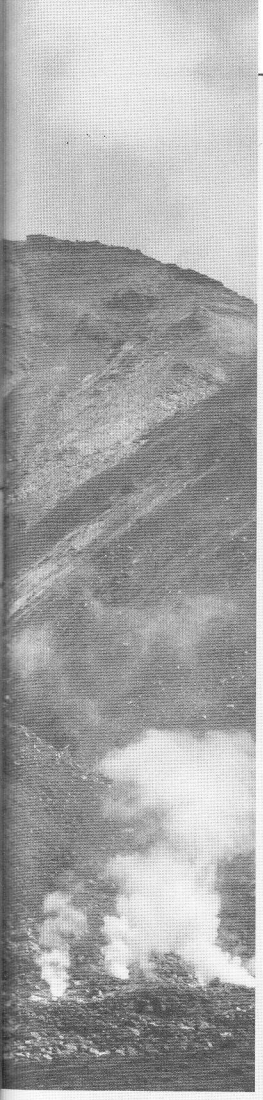
大仙市企画部　地域政策班

電話０１８７（６７）１１１１（代）

大仙市が「ふるさと納税」の一部を財源に、市内三十八の小中学校に「ふるさと納税文庫」を設置したことは、本誌第13号でお知らせしました。

この文庫の図書選択は各学校の生徒・児童が自分たちの考えをいれて行ったもので、それだけに各学校の特色が出ていて、読んでいてとても面白いと評判です。中には保護者も熱心に読んでいて、親子でこの文庫を利用している学校もあります。

二年目の平成24年度も、市内全小中学校に約二千冊の図書を購入して「ふるさと納税文庫」は一層の充実を図りました。



透き通った山頂の空気の中、旭岳が擂鉢池に映る

カメラ紀行

日本で一番早い秋の訪れ

■旅人
斉藤 貞助

旭岳の稜線が鮮やかに天地を分ける。噴出す水蒸気はまるで元気盛りの駄々っ子だ

大雪山山系は秋の訪れが日本で一番早いと言われる。カメラを担ぎこの山系に足を踏み入れたのが十月の初め。本州はまだまだ夏の余韻が残って厳しい暑さだというのに、訪れた一帯はもう紅葉が始まっていた。

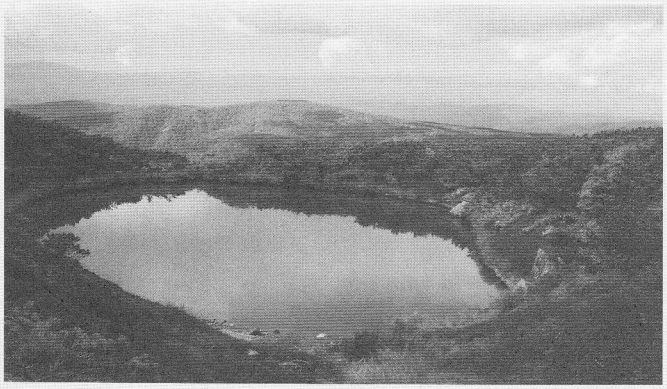
大雪山国立公園は、北海道最高峰の旭岳（2,291m）をはじめとする二十連峰におよぶ標高二千メートル級の山々の総称である。その面積は神奈川県全体の広さに匹敵する。かつて文人大町桂月は、富士山に上って山の高さを語り、そして「大雪山に上って山の大きさを語れ」という有名な言葉を残している。

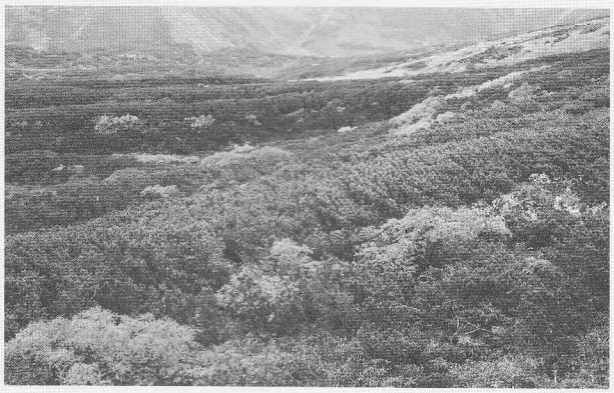
旭岳ロープウェイに乗って森林限界を越えたあたりから、真正面に大雪山の主峰旭岳がぐんぐん迫ってくる。山腹からは水蒸気が勢いよく吹き出し、それが山の稜線に添って山頂へと上って行く光景は、この山はまさに生きている。元気旺盛な活火山であることをまざまざと知らされる。

ダケカンバは黄色に紅葉する代表だ。赤色はエゾオヤマリンドウ、ミヤマリンドウ、ミヤマアキノキリンソウ、コケモモの実など多彩だ。大雪山は壮大なすそ野を錦に染めて堂々と、冬への臨戦態勢に入っていた。

赤と黄色に混じってハイマツの緑が映える。山の黒肌には水蒸気の白色がよく似合う。

大雪山国立公園 そして 旭岳 (2,291m)





登山道から望まれる紅葉は見事な錦絵。遠景の山並みは青色に霞んで秋空と溶け合っていた

タカヤナギは
秋田の「地産地消」
「美味・安心・安全」をお届けします。

Takayanagi
Quality Life Partner

GRAN MART

大仙市・仙北市・秋田市・由利本荘市・横手市・湯沢市

◇ふるさとの昔っこ

九郎兵衛（くろうべえ）蛍（ほたる）

文　平野栄司
切り絵　塩谷良二

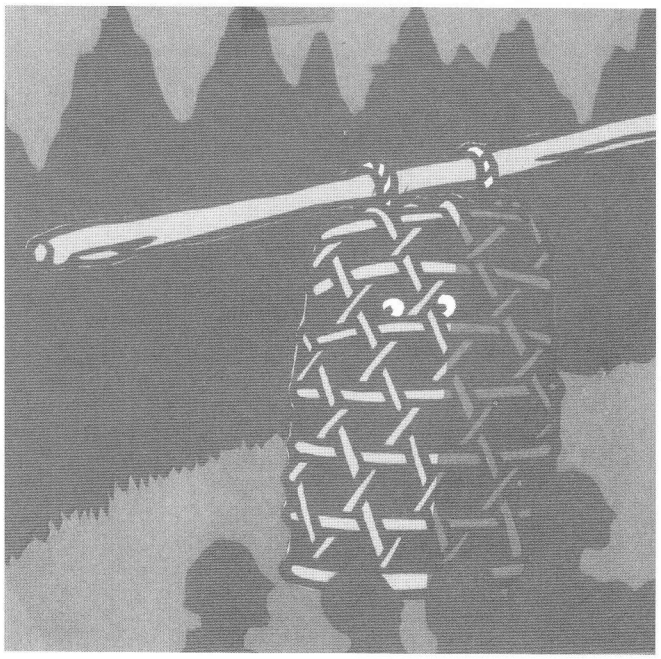
その頃の大曲は　たくさんの川舟が
往来する商いの町として
大変繁盛していました

しかし夜ともなると
盗賊の九郎兵衛が出没して
恐ろしい夜が続きました

義賊きどりの九郎兵衛は
豪商や大金もちの家は襲っても
一般の貧しい町民を襲うことは
決して　しませんでした

しかし　ある夏の夜、九郎兵衛も悪運つきたのか、とうとう役人に捕まってしまいました。とうまる籠に載せられて、見せしめのため奥州街道を通り、追分まで送られました。

途中、九郎兵衛を一目見ようと集まった人々はなぜか、罵声を浴びせたりして騒ぐ人はいませんでした。



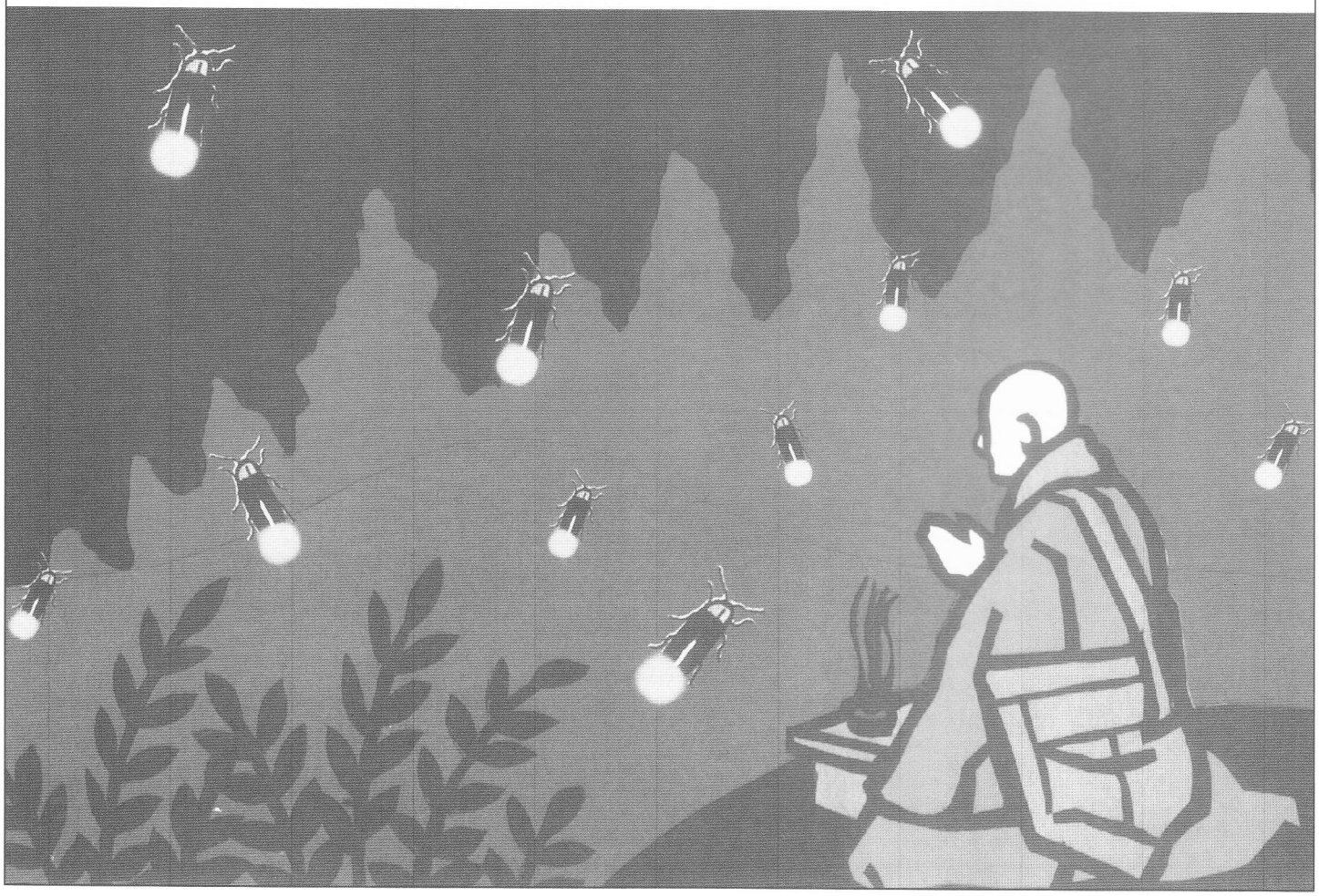
その後、九郎兵衛ばかりかその女房と子どもの三人も捕らわれて、生きたまま暗い土の中に埋められました。

その夜から命を絶った三人は光を求め、蛍に化けて地上に舞い戻ろうと、乱れ飛ぶのでした。その蛍の大きさは、馬の目ぐらいありました。

蛍の飛ばない夜は、大きな火の玉が大曲の家並みを飛び回りました。

こうして何年か過ぎました
いつまでも成仏できない九郎兵衛親子の
業を哀れと、川の目の般通寺の円坊が
ある夏の夜　塚の前で三部経を唱えて
供養しました
翌日の夜から　蛍の数が倍になって
光を放ちました

いつの間にか蛍茶屋も出来て
大曲から来るお客で大いに賑わいました



なかまの話題

黒皮羽生さん こころの歌コンサートで 「哀愁の角館」が入選

全日本音楽著作権協会、こころの歌コンサート実行委員会主催の、第十二回「こころの歌」コンサートに応募した黒皮羽生さん（本名　佐藤重光さん）の「哀愁の角館」が、見事「優秀賞」に入選しました。

佐藤重光さんは大仙市四ッ屋出身で、東京水産工業株式会社を創立し、現在は同社会長。首都圏大曲会の会員で長い間幹事としてその重責を担っていますが、趣味の一つとして作詞活動を続けています。主な作品に、「人生模様」「おおまがり慕情」「東京海峡」など。

哀愁の角館

作詞　黒皮羽生
作曲　白川雄三
歌唱　入沢正保

今も一人で待ってると
風の噂は　北国の城下町
こんな俺よりいいひとを
みつけりゃいいのに
　純（うぶ）な奴
みちのくに遅い花咲く
枝垂れ桜の
枝垂れ桜の・・・愛おしさ

川面みつめて肩寄せた
葉陰せつない哀愁の角館
そっと重ねた唇よ
忘れられない白い指
みちのくに名残り尽きない
木漏れ日揺れて
木漏れ日揺れて・・・
散る涙

今では遠いしあわせを
抱いて儚い面影の城下町
すすり泣くよな街の灯に
今も消えないぬくもりよ
みちのくに早い木枯らし
みぞれ雪舞う
みぞれ雪舞う・・・
この胸に

“カズヒロ”の 津軽三味線ライブ

“カズヒロ”こと畠山一洋さん（首都圏大曲会会員）の、津軽三味線ライブが、九月十七日、葛飾区の京成青砥駅ショッピングセンターで開催されました。

畠山一洋さんは日本民謡の芸を職業とする家庭に生まれて、もの心がつく頃からは津軽三味線の稽古に励んできています。これまでも数々のコンクールに出場し、首都圏大曲会の総会でもその腕を披露するなど、特に最近はめっきり腕をあげたと高く評価されています。

この日は首都圏大曲会からも、大釜会長ほか大勢の仲間が応援に駆けつけ、いつもながら賑やかなステージでした。（写真撮影は首都圏大曲会会員の小松昭二さん）

津軽三味線熱演中の“カズヒロ”

“魚と遊んで遊ばれて”
本社
新木場工場
新砂工場
ビル事業部
ふるさとのみなさんお元気ですか
トトヤ魚屋のオヤジやってます
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目8番5号　電話03-3640-6411(代) FAX03-3644-5832
おかげさまで創業45周年 45th 21世紀へ
東京水産工業株式会社
会長 佐藤重光

納豆汁

朱　華

富士の顔厳冬晴れに見え隠れ
束の間の家族揃ひて納豆汁
道端に彊（つよ）く咲くかな冬椿
早咲きし対の桜は佇めり
啓蟄や春近しとて名ばかりか
乗り越した車窓に香る白梅や

＊　朱華は、首都圏大曲会副会長
大友律子さんの俳号。國學院大
學俳句同好会「亜洲馬路」会員。

『ふるさと大曲』
首都圏大曲会会報第14号
平成24年12月31日

編集人:首都圏大曲会
発行人:大　釜　茂　璋

〒102-0073　東京都千代田区九段北1－1－7－304
教育情報プロジェクト気付　首都圏大曲会事務局
電話：03－5213－2028　Fax：03－5213－2029
e-メール: info@e-prosjp.com　http://www.supportlife.info

印刷・製本:秋田協同印刷株式会社

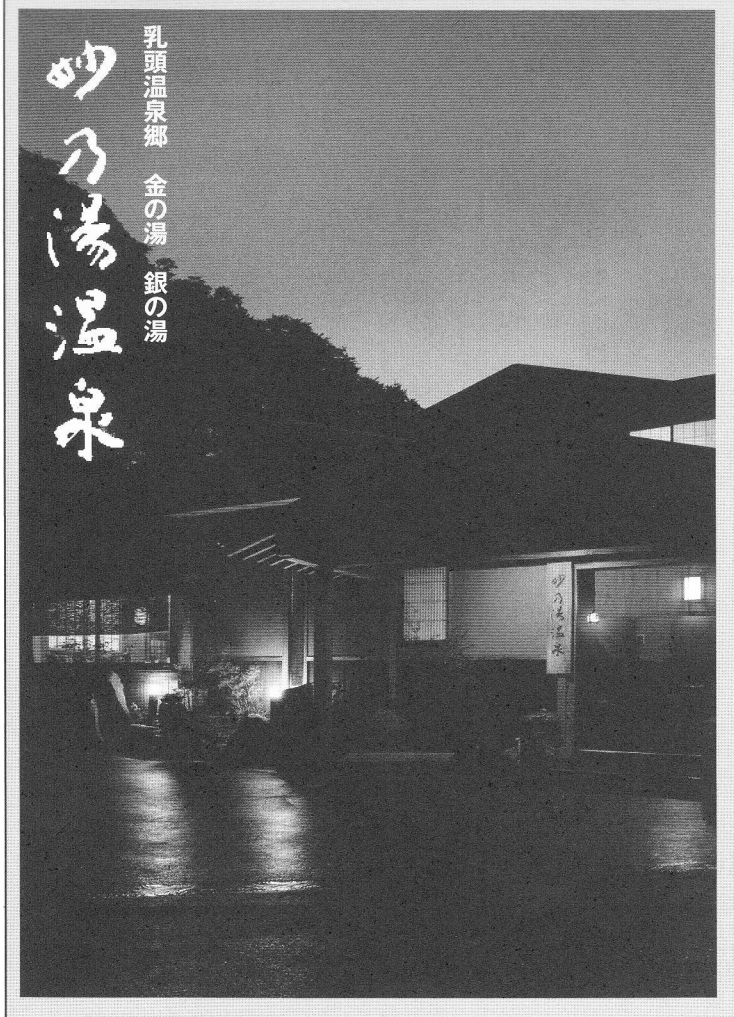
首都圏大曲会の情報は、ホームページでもご覧頂けます。

（大仙市のホームページともリンクしています）

http：//www.supportlife.info

編集後記

▼秋田新幹線こまちが大きく左にカーブを切り、大曲駅に滑り込む車窓右手に数本の建設用クレーンがゆっくり動いている光景が目につく。大仙市等が総力を結集し、急ピッチで進める市街地再開発の現場だ。▼老朽化した仙北組合総合病院を建て替え、バスターミナル、ショートステイ施設や商業施設などが平成26年春には完成するという。現在の病院跡地には大曲商工会議所や幼保一体型の認定こども園などが建つ。建築現場には夢がある。活気がある。新しい行動が始まる希望がある。この再開発は大仙市の新しい発展の原点となる。▼八月四日開催の首都圏大曲会総会は、会場の都合でこの時期の開催となったが、暑気払いを兼ねていたことから百五十名に及ぶ参加があり盛況だった。25年度は7月の開催になるが、大曲に少しでもゆかりのある方々はみなさんこぞって参加して頂きたい。総会はふるさとの味がする。懐かしいふるさとの香りがする。音がする。▼「納豆汁」と聞けばふるさとの味を思い出す。旨めもの研究会（辻卓也代表）が、B－1グランプリ北九州大会出場で、「納豆汁」がついに関門海峡を越えた。納豆すら馴染みの薄い九州で、最初から入賞は無理にしても、テレビをはじめ各マスコミからの注目はすさまじいものがあった。きっかけはできた。寒い季節の納豆汁。会員の文芸でも朱華さんが「納豆汁」を俳句にしている。みんなで盛り上げていこう。「束の間の家族揃ひて納豆汁」朱華。外は吹雪だ、きっと。▼「東京で大曲の花火を観る会」は今年で第4回を迎える。真冬の花火鑑賞は粋だし、カラオケも例年通り。2月17日（土）午後1時、会場はアルカディア市ヶ谷（私学会館）です。（大釜）

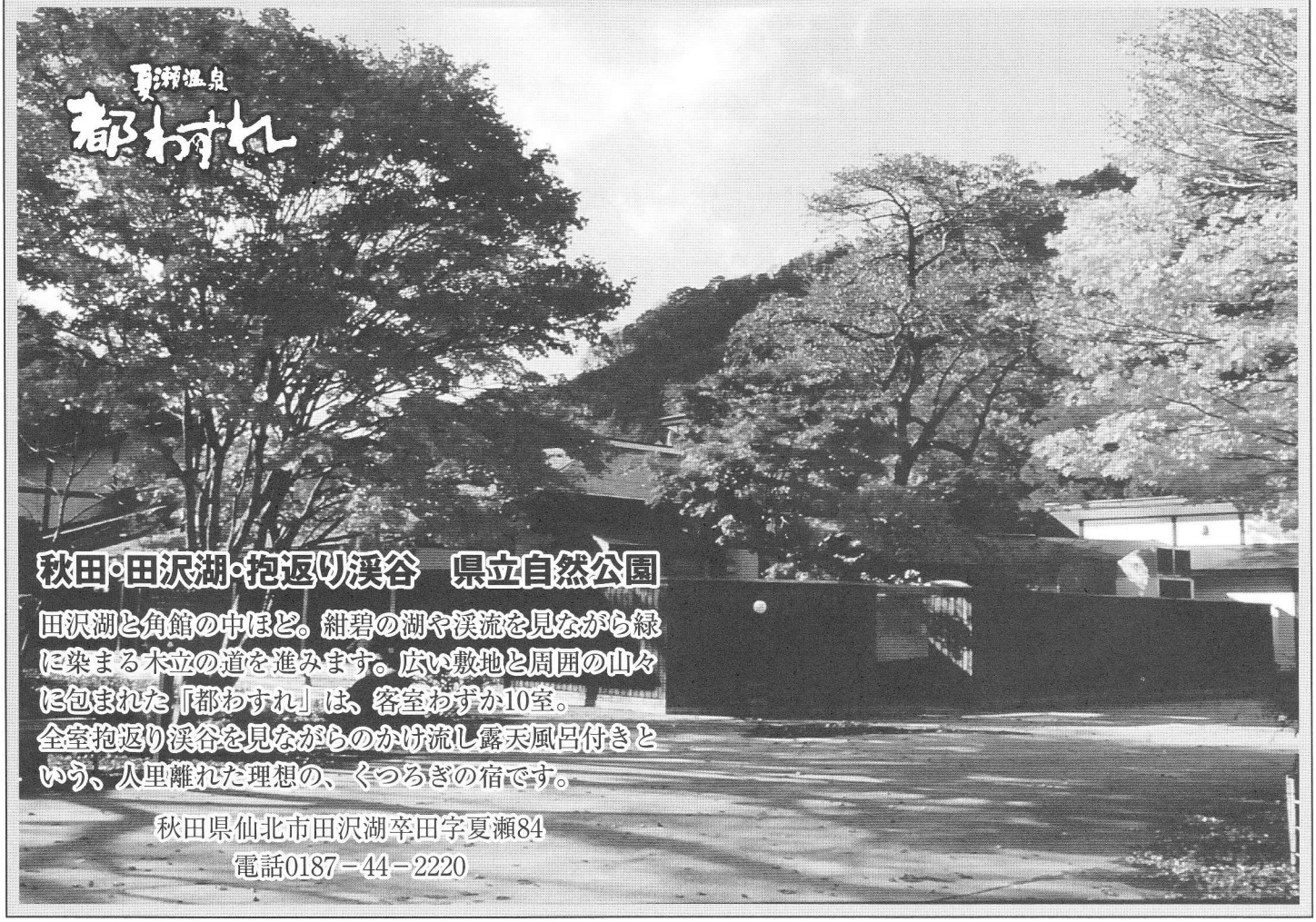


憩い
安らぎ
癒しの宿

秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを備えた趣のある宿として大変喜ばれています。

秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ケ岳２－１
電話0187－46－2740



秋田・田沢湖・抱返り渓谷　県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や渓流を見ながら緑に染まる木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。全室抱返り渓谷を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想の、くつろぎの宿です。

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187－44－2220